

「Well-beingが向上する健康なまちづくり」プロジェクト

目的

患者が抱える孤立、貧困、DV・虐待など、健康に影響を及ぼす社会的決定要因（SDH）を社会的処方により取り除き、病気の重症化予防・フレイル予防につなげることにより、患者が地域において生き生きと健康で暮らせる社会の実現を目指す。

概要

- ・ かかりつけ医は、受診の場面で患者が抱えるSDHについて「問診票」により把握し、地域の調整役であるリンクワーカーに情報提供する。
- ・ リンクワーカーは、保険者やかかりつけ医等と情報を共有しながら、個々の患者に合った集いの場や相談窓口、専門家等の社会資源につなげ、患者への支援を行う。

社会的処方の全体イメージ

秋田県全域(8医療圏)に拡大して実施 ※R3年度は5医療圏で実施

